

シンポジウム

今、農薬問題を考える

申込不要
参加無料

日時

2018年7月7日(土)

午後1時～午後4時

※開場:午後0時30分予定

会場

弁護士会館 2階講堂「クレオ」A

(定員180名)

— 良好な環境の中で、安全に生活したいと考える全ての方へ —

日弁連は、2017年12月21日付けで「ネオニコチノイド系農薬の使用禁止に関する意見書」を公表し、ネオニコチノイド系農薬の危険性を訴え、その使用禁止を求めました。

しかしながら、農薬の危険性に関する情報は社会に周知されておらず、自然や人体に対してどのような影響があるのか、科学的に十分解明されているわけでもありません。

そこで、農薬に関する最新の知見や研究結果を踏まえ、私たちがどのように農薬と向き合い付き合っていくべきかを考えるために、このシンポジウムを開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

プログラム (予定)

◆基調講演

「ネオニコチノイド系農薬の子どもの脳発達への影響」

木村一黒田 純子 氏

(医学博士、環境脳神経科学情報センター、元東京都医学総合研究所研究員)

◆報告「日弁連意見書について」

弁護士 大倉 英士

(日弁連公害対策・環境保全委員会委員)

◆報告「斑点米問題について」

今野 茂樹 氏 (秋田県大潟村のコメ農家)

◆パネルディスカッション「農薬の必要性と危険性」

パネリスト:

木村一黒田純子 氏

田口 操 氏

(長野県上田市・一般社団法人こどもの園園長)

今野 茂樹 氏

弁護士(日弁連公害対策・環境保全委員会委員)

〈会場アクセス〉



●地下鉄丸ノ内線・日比谷線・千代田線 「霞ヶ関」駅 B1-b 出口直結

●地下鉄有楽町線「桜田門」駅5番出口から徒歩8分

●JR線「有楽町」駅 から徒歩15分

お問い合わせ先:

日本弁護士連合会 人権部人権第二課

TEL:03-3580-9512 FAX:03-3580-2896

主催: **JFBA** 日本弁護士連合会